

# 埋文やまがた



2013年9月15日  
第51号



平成24年12月に、ここ上山市中山の地に移転しました。  
これが新しい庁舎になります。これからもよろしく願いいたします。

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3246 山形県上山市中山字壁屋敷5608 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：<http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス：[yac@yamagatamaibun.or.jp](mailto:yac@yamagatamaibun.or.jp)

平成25年度

# 山形県内の発掘調査

今年度は、国土交通省・県土整備部から委託を受け、7遺跡延べ8件の発掘調査を実施します。また、発掘調査の終了した遺跡の整理作業を行い、延べ11遺跡の報告書を刊行します。

## 発掘調査事業

(8月15日現在)

No	遺跡名	市町村	時代区分	種別	調査期間	報告書の刊行
1	道出遺跡1・2次	村山市	縄文	散布地	5月8日～8月28日	26年度
2	馳上遺跡6次	米沢市	古墳・奈良・平安	集落跡	9月24日～11月22日	28年度
3	八反遺跡3次	東根市	奈良・平安・中世	集落跡・墓跡	5月22日～11月1日	28年度
4	蝉田遺跡2次	村山市	奈良・平安	集落跡	5月23日～12月13日	28年度
5	松橋遺跡2次	村山市	平安	集落跡	6月3日～10月22日	27年度
6	山形城三の丸跡13次	山形市	奈良・平安 中世・近世	集落跡・城館跡	5月20日～10月31日	28年度
7	元宿北遺跡	川西町	飛鳥・奈良・平安	包蔵地	5月20日～9月30日	27年度

## 整理作業

No	遺跡名	市町村	業務内容
1	蔵増宮田遺跡	天童市	報告書作成・刊行
2	馳上遺跡5次	米沢市	報告書作成・刊行
3	西谷地b遺跡3次	米沢市	報告書作成・刊行
4	森の原遺跡3次	村山市	報告書作成・刊行
5	押出遺跡4・5次	高畠町	報告書作成・刊行
6	西谷地b遺跡1・2次	米沢市	報告書作成
7	沼袋遺跡	東根市	報告書作成
8	田向遺跡	村山市	報告書作成
9	田向2遺跡	村山市	報告書作成
10	経塚森遺跡	村山市	報告書作成
11	清水西遺跡	村山市	報告書作成
12	沼田1遺跡	村山市	報告書作成
13	沼田2遺跡	村山市	報告書作成
14	八合田遺跡	村山市	報告書作成・刊行
15	森の原遺跡1・2次	村山市	報告書作成・刊行
16	今宿大谷地遺跡	大石田町	報告書作成・刊行
17	山形城三の丸跡12次	山形市	報告書作成・刊行

## 平成25年度 発掘調査遺跡



# 整理室からこんにちは ⑥

## せつごう ぶくげん 接合・復元編

発掘調査で見つかる土器は、割れた状態であることが多いので、発掘現場からセンターに来る土器も、ほとんどがばらばらの状態ということになります。これを、土器が使われていた当時の姿に戻すのが、接合・復元の作業です。



①

破片は、出土した場所ごとに小箱などに入れられ、作業台一面に広げられます。



②

土器片の色や模様、粘土の質や出土した場所などを手がかりにして、つきそなものをさがしていきます。



③

見つけた破片を接着剤でつなげていくと、だんだんと元の形を見せ始めます。



④

見つからなかった部分は、石膏や合成樹脂などで補い、全体を補強します。

完成!

博物館の展示などで見ることのできる土器は、このようにして復元されたものです。



復元の仕事は、よくジグソーパズルにたとえられますが、パズルと違うのは余分なピースがたくさんあったり、欠けたピースがあったりすることです。膨大な数の破片から元の形をよみがえらせるのは、復元作業の技術に加えて、注意力と根気と時間を要する、地道で大変な作業なのです。

# ふるさと考古学講座(1) 平成25年7月21日(日)

# 遺跡を掘ってみよう!

まずは基本。八反遺跡の概要を勉強しました。



仕事の始まりは、準備運動から。体をほぐして、事故の無いように備えます。実際の発掘作業現場でも、必ず実施しています。



調査員と、楽しくお話をしながら掘っています。どんなことを話しているのかな？

今年の体験場所は、溝状の遺構です。細長い溝に沿って、並んで掘り進めます。



「ここは、こっちから掘っていこうね。」



道具の後始末も、大事な作業の一部です。しっかり体験していただきました。

今年の「遺跡を掘ってみよう！」も、一昨年、昨年に続いて八反遺跡（東根市）で実施しました。

終始薄曇りの空模様で、この時期としては、屋外で活動するには絶好の天候の下、約2時間ほどの発掘体験をしていただきました。残念ながら遺物の出土数はそれほど多くありませんでしたが、参加した皆さんには満足していただけたようでした。

八反遺跡の調査は今年度で終了の予定なので、一般の方々に発掘を体験していただける最後のチャンスとなってしまいました。応募者が100名を超える人気企画ですので、来年度も、皆さんに体験していただけるような調査遺跡が、あるといいのですが……

## ふるさと考古学講座(2)

展示：平成25年7月27日(土)から

講座：平成25年7月28日(日)

### 特別展示『縄文時代の上山』 歴史講座『上山の縄文遺跡から 分かること』

埋文センターのある上山市は、市内にある登録遺跡67遺跡中37遺跡が縄文関係と、縄文時代の遺跡が豊富です。今年の歴史講座も埋文センターの調査員が講師となり、上山の縄文時代について語ってもらいました。受講者の皆さんは、ふるさとの知られざる一面にふれ、感慨深げでした。



28日の歴史講座には、大勢の方に来ていただきました。



展示会場の様子

## ふるさと考古学講座(3)

平成25年8月11日(日)

### 縄文ものの作り広場

弓矢体験コーナー→

アンギン編みのコースター作り↓



↑まが玉作り

石器作り  
実演コーナー→



ふるさと考古学講座の(2)と(3)は、今年も上山城との共催で行われました。「縄文ものの作り広場」では、人気のまが玉作りをはじめ、古代布(アンギン編み)のコースター作りや弓矢体験、石器作りの実演コーナーなど、上山城にいらっしゃった方々に、考古学に親しんでいただきました。

# ようこそ 埋文センターへ

埋蔵文化財センターでは、常設の展示品の他、センター内で行っている業務や発掘現場を公開しています。今年も社会教育活動や授業の一環として、あるいはセンターを利用した研修会等の利用がありました。

写真の他、上山市身障者福祉協会、山形市小学校教育研究会等の皆様にもご利用いただきました。



5月1日 上山市立南小学校5年生の遠足



6月13日 上山市教育委員会による教員研修会

見学・研修等でのご利用のお申し込みは、随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



7月2～4日 上山市の中学生による職場体験



## ビーちゃん量産機

## リフト・オフ!



初号機の出撃を見送る仲間たち  
「がんばってこいよ～!!」



昨年の全国かかし祭コンクールで賞をいただいた<sup>※</sup>ビーちゃんかかし（本誌49号参照）が、各方面で大好評。このたび量産化されました。山形駅や庄内空港など、県内のあちこちに出動しています。皆さん！お近くのビーちゃんをさがして、ぜひ会いに行ってください。

※ビーちゃんとは、埋文センターでの「縄文の女神」の愛称です。昨年の国宝指定以前、この土偶が通称「縄文のビーナス」と呼ばれていたことから、親しみを込めてこう呼ぶようになりました。

## これからの催し物のご案内



今年は中山移転後、初の開催になります。

### 埋文センター参観デー

『埋文祭り2013』10月6日(日)

人気のまが玉作りをはじめ、様々な考古学体験を企画しています。どなたでも参加できます。

### ふるさと考古学講座(4) バスで遺跡を見に行こう!

10月19日(土)

よしあき  
義光公没後400年を記念して、今年には城跡等を貸し切りバスで見て回ります。事前申し込みが必要です。



去年は村山地方の古墳を巡りました。



出土遺物の展示も予定しています。

### 平成25年度発掘調査速報会

埋文センター設立20周年記念講演会

12月15日(日) 於: 甌葉プラザ(村山市) ※予定

今年度分の発掘調査成果を、いち早くお伝えします。今年、センター設立20周年の記念講演会も同時開催の予定です。

## 考古学クイズ ～山形の遺跡編～

これまで、山形県埋蔵文化財センターでは、県内にある遺跡について、数多くの調査を行ってきました。

このコーナーで、少しでも県内の遺跡や文化財、考古学に興味を持っていただければ幸いです。

Q. 今年は最上義光公没後400年になりますが、最上家の居城山形城は何重のお堀で囲まれていたでしょう?

A. ① 一重 ② 二重 ③ 三重

ヒントは前号にあります。答えは次号(第52号)の「埋文やまがた」で!

遺跡(埋蔵文化財)とは「過去の人間活動の痕跡」で、一般的には地下に埋蔵されているものことです。集落跡や古墳、貝塚、城館跡など様々な種類があります。

山形城跡は、全体で約235万㎡にもなる広大な遺跡です。おなじみの霞城公園は、山形城跡の中心部分で、その外側にも遺跡が大きく広がっています。現在公園内では当時の建造物の復元が進められています。機会があったらぜひ見学してみてください。

前号 考古学クイズの答え ② 約4,500年前、縄文時代中期のものと考えられています。

# 秘宝館

## 酒田 亀ヶ崎城跡出土の木簡



山形県立酒田東高等学校の校舎改築工事に伴う、平成16～17年の緊急発掘調査で出土しました。

長さ・幅・厚さは、それぞれ約16.5cm・3cm・0.6cmです。



木簡の出土状況

慶長<sup>けいちょう</sup>5年(西暦1600年)7月3日の日付のある木簡で、当時の東禅寺城(後の亀ヶ崎城・酒田城)<sup>もっかん</sup>城代、志駄修理亮<sup>とうぜんじ</sup>義秀<sup>かめがさき</sup>に宛てて送られた鉄砲玉の荷物に付けられた荷札です。関ヶ原の合戦・出羽国の合戦が同年9月頃の出来事ですので、わずかにその2ヶ月ほど前のことと思われます。天下を大きく二つに分けた戦いが、ここ庄内でも今まさに始まろうとしていた矢先のことであり、開戦前夜のピリピリした空気が伝わってくるような資料です。

このように、来たる戦いに備えた上杉方の東禅寺城でしたが、翌慶長6年、最上義光<sup>もがみよしあき</sup>によって攻め落とされ、以後、庄内は最上の勢力下に入ります。その後義光は、東禅寺城を亀ヶ崎城と改め、慶長19年(1614年)に亡くなりました。

今年は義光公没後400年の節目の年に当たり、県内でも様々な関連行事が計画されているようです。

### 「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。  
なお、郵送料はご負担いただけます。

電話 023(672)5301(代表)

### 編集後記

今年は、山形県埋蔵文化財センター設立20周年になります。『これからの催し物のご案内』にもありますとおり、記念行事も計画されております。たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。